

# 2023年度 前期 在宅看護学講座

## 【キャリア体験実習】

R5. 7. 4(火)～7. 6(木)

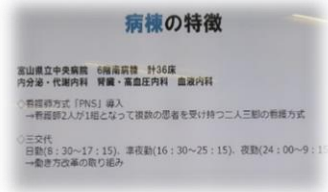
今年度、在宅看護学講座では「もみじ訪問看護ステーション」「ものがたり訪問看護ステーション」「富山県立中央病院 6階南病棟」の3か所に実習に行っていました。

### ＊もみじ 訪問看護ステーション 富山型デイサービス

訪問看護師さんと一緒に同行訪問



### 富山県立中央病院 TOYAMA PREFECTURAL CENTRAL HOSPITAL



### ものがたり訪問看護ステーション

地域の人との  
交流会に参加



今年度初めて病棟での実習を体験

## 実習後は、皆で学びの報告会

- ・訪問看護師は患者さんとその家族のことを詳しく知ることができ、信頼関係を築ける。
- ・訪問看護では個別性に合わせたケアを行っている。
- ・訪問看護を利用することで、自身の生活の中で暮らせる。
- ・個人の尊重を行い、多職種連携を図りながらケアを行っている。
- ・「患者のため」(＝ケアをする側の考え)にならない看護を実践していく必要性を学んだ。
- ・病棟の看護師は、「療養上の世話」と「診療の補助」をしておりそれ以外にも患者のスケジュール管理を行っていた。
- ・患者の安全・安楽を第一に考えた看護を実践していた
- ・「看護師の仕事は、患者さんから学ぶことも多く、やりがいのある仕事」と教えてもらった。



# 【トピゼミⅡ・Ⅳ】

1年生・2年生合同発表会



## 皆で学びのシェア

1年生

### ♡医療現場が抱える課題



### ♡看護師の負担を知ろう！



2年生

### ◇意思決定方法



### ♡訪問看護師の人手不足について



### ◇看取り士



### ◇医ケア児の自立と支援



♡看護師は様々な身体的疲労が伴うため、リフレッシュできる時間を確保する。勤務形態を調べ、自分に合うかやっつけていけるか考える。  
♡看護師の人手不足があり、解消するためには教育、職場環境を整える、補助看護職員を導入する。  
♡訪問看護師には経験を積んだ人材が求められるため、転職しやすい環境、労働しやすい環境が必要である。

◇ACP とリビングウィルを活用することでより良い意思決定が可能である。  
◇看取りを支援する職業があり、地域に潜在・顕在する様々な問題を解決することができる。海外からの学びも多い。  
◇医ケア児に対しては、レスパイトなどで家族の負担を軽減させる支援はあるが充分ではない。命は救えたが、サポート体制が整っていない現状がある。